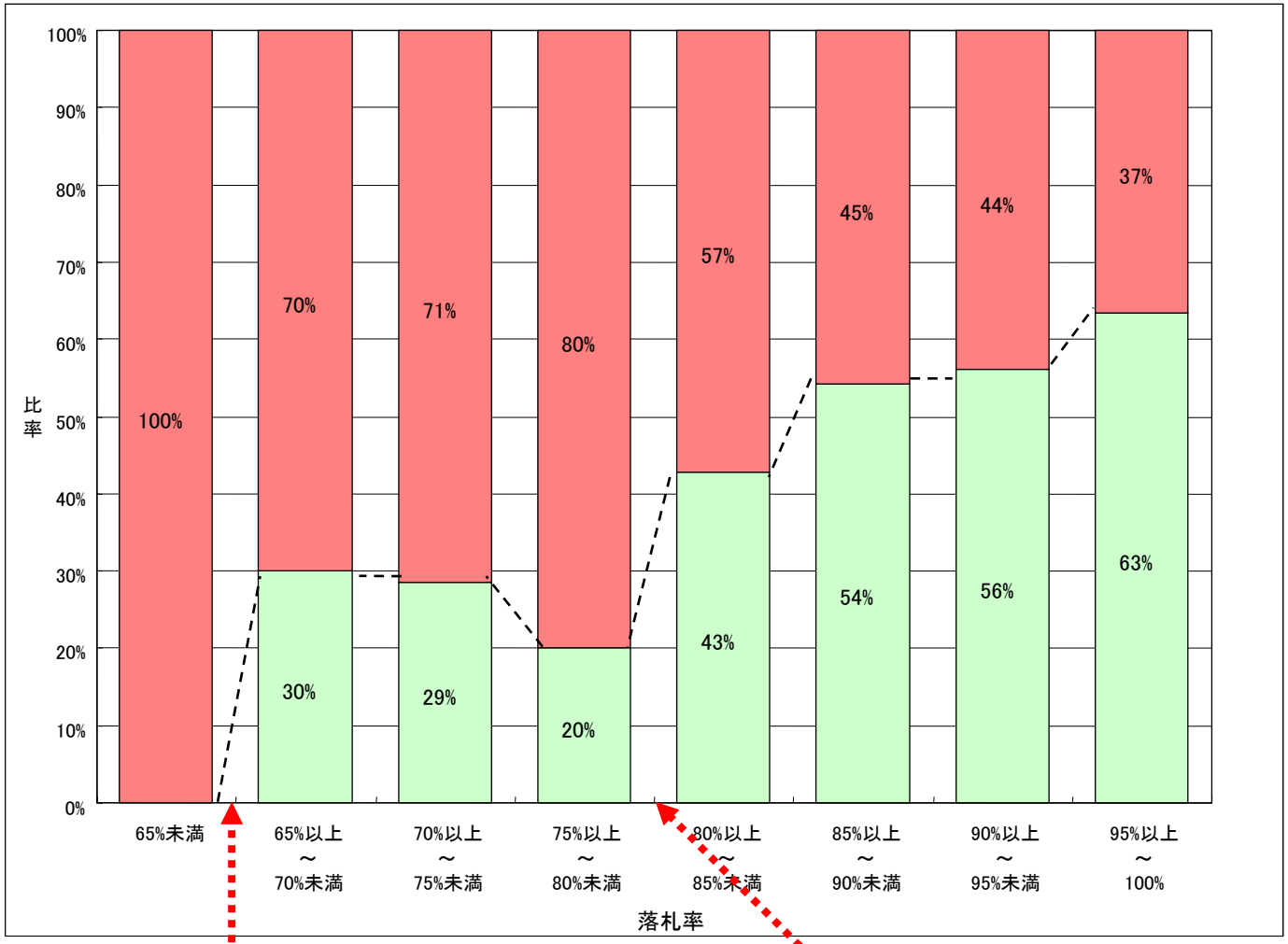
工事成績評定と落札率の関係

別添－３

・工事成績評定は、工事の品質を表す一つの指標として、工事完成後に発注者が評価採点。
・落札率が低くなるほど工事成績評定が低くなり、平均点以上の工事が減少する傾向。



※品質に係る試験等の結果が規格値・試験基準を満足せず品質が劣る工事は、全て平均点未満の工事において発生している。

平均点未満の工事
平均点以上の工事

※工事成績評定点の平均点：74点
（平成15年度竣工の土木工事(全国)）

※対象データ（工事規模1億円以上）
平成15・16年度竣工工事から
310件の工事を抽出

・工事費を構成する直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費について、それぞれ発注者の積算額の75%, 70%, 60%, 30%とすると、概ね65%に相当。
・概ね65%未満では、平均点以上の工事は無い。

概ね80%未満では、平均点以上の工事が大幅に減る。